

中学校の学校規模について／小学校の学校規模について

<前3回の会議で出た意見>

<p>第1回会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科の先生を揃えようと思ったら1学年3学級くらいないと難しい。</li> <li>・制限のある中で学校経営をしている。</li> <li>・長女が6年生だが、1クラス10人しかいない。友達と上手いかなくなった子が一時期学校に来れなくなった。</li> <li>・クラスの数は1学年2学級以上あればよいと思う。</li> <li>・一番下の子どもが小学校3年生だが、1クラス12人である。クラスの中のグループが作りづらくなっている。</li> <li>・中学校に進学した時、少ないグループでいたものが、中学校で他の小学校と一緒にあって、相手方の小学校の子どもが元気すぎたりした場合や、こちらの小学校の子どもが大人しすぎたりした場合などに、やりづらい部分を感じた。</li> <li>・子どもたちの逃げ道になるくらいの人数が欲しい。</li> <li>・人間関係の問題は大規模校でもあるが、年度が替わるときにクラス替えができるので、少し気持ちをリセットすることができる。</li> <li>・反面、1小1中ということで、9年間同じメンバーで過ごすというのはデメリット。高校を出てから少し弱い部分があるということは昔から言われている。</li> <li>・毎年クラス替えがあるのは、保護者としてありがたい。</li> <li>・小規模校のメリット、デメリット。学級数によって定員が決まっているので、クラスが増えるということは子どもたちにとってメリットがあるし、教員にとってもメリットがある。</li> <li>・子ども一人ひとりの成長を考えると、人との関わりというのは、将来にわたって大事なポイントになる。少人数よりはある程度人数がいた方が、子どもたちにとって将来良いのではないかというのは、教育の基本に立ち返るとそう思う。</li> </ul>
<p>第2回会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いまの子どもたちの考えや個性は本当に多様だ。それを複数の目で、様々な角度から支援できる教員の体制というのが本当に必要と思う。ただ人数計算ではなくて、様々な個性のある子どもに対して多様な支援ができるという面で、適正規模での教員配置が必要ではないかと、最近現場でやっていて思う。</li> <li>・子どもたちは子どもたちの中の人間関係、子どもたち同士のかかわりの中で成長していく。例えば、小学校6年間でクラス替えがなく、6年間同じ集団となると、人間関係が固定化してしまったり、仲のいい友達ができなかつたりしたときに、逃げ場がないところはちょっと厳しいと思う。</li> <li>・子どもたちは、多様な価値、考え方に触れる機会がある方が成長できるし、そういう環境づくりが必要と感じる。</li> <li>・私も地元の小学校、中学校の卒業生であるので、もちろん自分の学校は残してほしいが、文化祭のコーラスを見ている、もう限界かなというのを感じたし、特に中学校は、急ぐ必要があると感じる。</li> </ul>

<p>第2回会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校を維持したいという人がいて、小学校を中心に地域は盛り上がっていくということを、みんな忘れていると思う。</li> <li>・中学校と小学校とではまた話が違ってくるが、子がいま中学校の2年生だが、部活も限られている。また中学校となると、いろんな人と関わる、関わらないといけない、切磋琢磨していかないといけないという意味で最初の段階であると思って、中学校に関しては統廃合に賛成の意見だ。</li> <li>・現状から見ると、中学校は早く統合をした方が良いのではないのかと思う。中学校長会からもそういった意見が出ているし、いま玉野市で1年に生まれる子どもの数が200数十人と聞いているが、現状から見ても中学校は2つくらいにしてもいいと考えている。</li> <li>・保護者から人数が少ないと人間関係で行き詰まると本当に学校生活が苦しいとか、うまくいっているときはすごくいい環境かもしれないが、一度かみ合わなくなると、6年間が非常に辛いものになったという経験をした人もいたようだ。</li> <li>・多くの学校が維持されると、それだけ修繕費、維持費がかかるので、命の危険が迫るような状況でないと修繕してもらえないという声も耳にした。保護者からも、人数に見合った学校の数を検討していくことが大切だということを言われた。</li> </ul>
<p>第3回会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年4月に山田中学校に入学する子が、後閑小（4名卒業）からは今回0になる。山田小（15名卒業）からは女子が9名だけ。せっかく山田中学校を残しても選んでももらえない。</li> <li>・中学校は例えば1学年3クラスずつでいいのであれば、2つの学校で、荘内中も宇野中も無くして、玉野に西と東の中学校を作って、人数もだいたい均等にして、そこを拠点に後は小学校をどうしていくかを考えてはどうか。</li> <li>・もう5年も10年も待てない。山田中学校はもう目の前だ。そういう状態で一生懸命学校を残そうと、いい学校にしようと、私もPTA会長として努力したが、もうそれが現実だ。</li> <li>・いま中学校がピンチという話があったが、これから20年、30年先の玉野市の人口を考えると、小学校も怪しい。</li> <li>・私は、一概に少ないところを多いところにくっつけるというのは正直どうなのかなと感じた。</li> <li>・生徒のことに限っては、多い少ない両方で良い面も悪い面もあるので、私が最初に感じた「少ないから寂しい」というのは、自分もちょっと間違った感覚を受けたかなと感じたのが正直なところなので、子どもたちにとって本当に良い方法を見つけない。</li> <li>・先生の方だが、先生が少ない、例えば1学年1クラスの学校だと、先生方が何かで欠員したときに、どうしてもその穴埋めをする先生がなかなか充てられないという現実もある。逆に荘内小学校では、たくさんの先生がいて、教えるクラスを変えるような試みをしていることを聞いて、そういった面では、クラス数が多いということは先生たちにとってメリットがあって、例えば有給休暇なども、今日は休みたいという日に気軽に休む、先生の精神的な面での健康を考えると、やはり多少クラス数があって、先生がいないと、先生の心の健康などを保てないのかな、子どもたちの教育に何か差し支えがあるのかなというところも一つ感じた。子どもたちのことを一番に考えないといけないが、先生のそういった面も考えていく必要もあるかなと話になった。</li> <li>・これから小学校に上がる地域の方の話で、入学するのは1クラスの小学校の予定だが、アットホームでいいという思いはあるけれども、将来を見据えて、これから子どもが減ってくることを考えると、統合も必要になってくるのかなという話があった。そして、どこに住んでいても同じような教育が受けられるのがいいなという話も出た。</li> </ul>

追加意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
------	---



「上記の意見+追加意見」をもとに協議し、答申に盛り込む内容をまとめていく。

<p>&lt;答申に盛り込む内容&gt;</p> <p>●中学校</p> <p>◇学校運営に関する内容（先生に関すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>◇学び・人間関係に関する内容（児童生徒に関すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>●小学校</p> <p>◇学校運営に関する内容（先生に関すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>◇学び・人間関係に関する内容（児童生徒に関すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
--	--